

2026 年 4 月 28 日

各 位

株式会社 JSOL

JSOL、米 Replit 社と日本初の戦略的パートナーシップを締結

～バイブコーディングの本格導入で企業の新サービス開発を迅速化、効率化～

株式会社 JSOL(以下、JSOL)は、バイブコーディングによる AI 開発プラットフォームで急成長する Replit Inc. (本社: 米国カリフォルニア州サンフランシスコ 以下、Replit 社)と、同社製品「Replit」の日本国内初となるソリューションパートナーシップおよびリセラー契約を締結しました。JSOL は本提携を通じて、日本国内でのバイブコーディングの普及を後押しするとともに、お客さまの既存システムへの整合やセキュリティの強化を担うことで、企業の競争力向上に貢献します。

近年、深刻な IT 人材不足が指摘されており、多くの企業で、ビジネスのアイデアをシステムに素早く反映できないことが、重大な経営課題となっています。こうした課題を背景に急速に注目を集めているのが、バイブコーディングです。

バイブコーディングとは、日本語などの自然言語で AI に指示するだけで、アプリなどのソフトウェアを設計・構築できる技術です。プログラミングの専門知識を持たない人でも、日本語で AI に「こういうアプリを作りたい」と伝えるだけで、AI が自動でプログラムを生成・実行することができます。これにより、従来、開発者が担ってきた設計から公開までの数多くの工程を AI が代替します。ただし、企業がバイブコーディングを実業務に導入するには、次のような壁がありました。

- ・既存の社内システムとうまく連携できない
- ・セキュリティや社内規則・ガバナンスへの対応が難しい
- ・開発したシステムを新規事業やビジネス改善に結び付ける評価・判断が難しい

Replit は、バイブコーディングをブラウザ上で完結できるクラウド型の開発プラットフォームです。既存の AI コーディング支援ツールがエンジニアの作業効率を高めるものであるのに対し、Replit はエンジニアではない人もシステム開発そのものを担えるように設計されている点で、本質的に異なります。インストール不要で、日本語による指示に対応しており、AI エージェントがアプリの企画・設計・実装・公開までを一気通貫でサポートします。特徴は、プログラミングの専門知識がなくても使える点にあります。業務担当者がアイデアを日本語で入力するだけで、動作するプロトタイプが短時間で完成するため、「アイデアを思いついてから実際に動くものを確かめるまでの時間」を大幅に短縮できる点が最大の強みです。具体的には、要件定義から実装・検証までには約 2 週間を要していたプロトタイプ開発が、本ソリューションの活用により最短 2 日で完了した事例も確認されています。

導入企業は次のような変化を期待できます。

- ・現場主導のシステム改善を実現: IT 部門への依頼を待たず、業務担当者自身がプロトタイプを作成・検証できる

- ・アイデア検証のサイクルが劇的に加速:「試してみる」コストが下がり、失敗を恐れずに新サービスを試せる環境が生まれる
- ・外部委託コストの削減・内製化率の向上:開発の一部を社内で賄えるようになり、費用と時間の両面で効率化が進む

実際、Zillow、Atlassian、Adobe、Accenture、Databricks といった大手企業の実業務で Replit が活用されており、最近では高性能開発エージェント「Agent 4」を発表しています。

JSOL では、強力な開発力を持つ Replit を日本のエンタープライズ環境に導入・活用を推進するために、長年のシステムインテグレーションの知見で、以下のような補完・支援を行います。これにより、Replit のスピードを損なうことなく、エンタープライズが求める品質・安全性・安定性を両立した導入を実現します。

- ・**新規事業・ビジネス伴走**: アイデアを事業として成立させるには、技術だけでなくビジネス視点の評価が不可欠です。JSOL は企画段階から伴走し、開発したシステムが実際のビジネス価値につながるよう支援します。
- ・**既存システムとの連携**: 社内の既存システムとつながらなければ実業務では使えません。JSOL は基幹システムとの接続設計・実装を支援し、現場で実際に動く形での導入を実現します。
- ・**セキュリティと品質の担保**: AI が自動生成したコードが企業のセキュリティ基準や業界規制を満たすよう、JSOL が各業界の厳格な基準に沿ったサポートを行い、AI 生成コードを「企業の業務資産として長期活用できる水準」に引き上げます。
- ・**導入後の安定運用**: JSOL は継続的なサポート体制と運用設計を提供することで、セキュリティリスクを管理しながら導入後も安心して使い続けられる環境を整えます。

今回の提携は、米国の有望スタートアップの発掘と日本企業との橋渡しに取り組んでいる SMFG シリコンバレー・デジタルイノベーションラボを通じて実現したものです。

本提携により、両社は共同で市場開拓戦略を推進し、製造・金融・小売をはじめとする幅広い業界に AI 主導の開発手法を提案していきます。そして、顧客企業に対して、技術的な制約に縛られることなく、現場の発想から直接サービスを生み出すことのできる、実効性・安全性の高い DX の推進に貢献します。なお、JSOL は本事業において、2026 年度に売上 1 億円の達成を目指します。

加えて、今後は地方自治体と連携した「AI ハッカソン」の開催についても計画しています。IT スキルの習得を支援することで、若者などが地域に居ながら専門性の高い仕事に就ける環境づくりを目指します。これにより、デジタル技術を活用した地方での雇用創出にも貢献していきます。

【Replit 社について】

Replit 社は、米国カリフォルニア州 フォスターシティに本社を置くエージェント型ソフトウェア開発プラットフォーム企業です。世界に 5,000 万人以上のユーザーを持ち、フォーチュン 500 企業の 85% で利用実績があります。Replit は直近のシリーズ D ラウンドで約 4 億ドル(約 640 億円)を調達し、企業価値は約 90 億ドル(約 1.4 兆円)に達しています。

<https://replit.com/>

【コメント】

■Replit ビジネス開発 & パートナーシップ担当 VP Jeff Burke 氏

「日本は長年にわたり製造業やエンタープライズ・イノベーションにおける世界的リーダーであり、JSOL とのパートナーシップを通じてこの市場へのコミットメントを深められることを大変うれしく思います。私たちは共同で、チームがアイデアから実際に動くソフトウェアを作成するまでの時間をこれまでにないほど短縮し、日本の産業界全体で新たな AI 主導のソリューションを解き放ちます。」

■株式会社 JSOL ビジネスパートナーシップ・リード 三尾幸司

「JSOL は、Replit の開発能力と当社のシステムインテグレーションの専門知識を統合した、高付加価値で包括的な AI ソリューションの提供に注力しています。日本初のソリューションパートナーとして、製造業・金融業をはじめとするエンタープライズ企業が、実用的な AI 主導のソフトウェア開発を大規模に導入できるよう支援することを楽しみにしています。」

【エンドースメント】

株式会社三井住友フィナンシャルグループ シリコンバレー・デジタルイノベーションラボ

当拠点は、現地で有望なスタートアップを発掘し、グループベースでの活用や協業創出につなげる役割を担っています。

生成 AI を使って誰もがシステムを構築できる「開発の民主化」が注目を集める中、当拠点は 2025 年 1 月に Replit と出会いました。

以降、グループ会社への導入支援や、Replit を用いた日本でのハッカソン開催等の活動を通じて、この新たな開発スタイルを検証・発信してまいりました。

今回、Replit と JSOL がパートナーシップを締結したことは、日本企業が新たな開発モデルを取り入れていく上で、大きな後押しになるものと考えています。

両社の連携により、企業における価値創出のスピードがさらに加速することを期待しています。



■株式会社 JSOL

(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:永井 健志)

<https://www.jsol.co.jp/>

株式会社 JSOL は、株式会社 NTT データと株式会社日本総合研究所が出資するシステムコンサルティング・ソリューションインテグレーターです。

2006 年の設立以来、製造、流通サービス、金融、公共分野で培った豊富な業務ノウハウとシステム開発力、エンジニアリングサイエンス分野における先進的な解析技術に強みを持ち、お客さまの価値向上に貢献しています。

※本リリースに記載されている内容は予告無く変更することがあります。

※本リリースに記載されている製品名、会社名は各社の商標または登録商標です。

【お問い合わせ先】

一般のお客さま

株式会社 JSOL エンタープライズ&ソーシャルビジネス統括本部

ビジネスデザイン&マーケティング部

E-Mail: rfi@jsol.co.jp

報道関係者さま

株式会社 JSOL 経営企画本部 広報部

E-Mail: webinfo@jsol.co.jp

JSOL CORPORATION